

平成 30 年度第 1 回運営推進会議議事録

日時	平成 30 年 5 月 24 日 (水) 14:00~14:50
場所	Aユニット 和室
参加者名	松岡様 (地域包括センター)、谷脇様 (婦人会長)、河野正様 (推進委員)、 山下様 (神越民生委員)、竹内様 (Bユニット家族代表)、神野、橘井
<p>1. 運営推進会議構成員について          新規推進委員：松岡 久美様 (地域包括センター)          谷脇 節子様 (喜須来地区 婦人会長)</p> <p>2. 平成 29 年度 年間計画・行事について          行事予定、運営推進会議予定については別紙にて説明。          予定表に記載してないもので 6 月 4 日 (日) 八幡浜市水防訓練参加について説明。          場所：八幡浜市保内町喜木 名坂道路用地          訓練目的：洪水、高潮等の水災を防止しこれらの水害による被害を軽減する為、八幡浜市における水防活動体制の充実を図る。          また、今回アトムタクシー様との連携した避難訓練も実施予定。</p> <p>3. 平成 28 年度 地域密着型サービス外部評価 訪問調査について          3 月 6 日に地域密着型サービス外部評価訪問調査で調査委員が 2 名来所し、事業所内視察、管理者及び職員への聞き取りを調査実施した。調査日の約 1 カ月前に 1~55 項目あり、その項目に沿った自己評価を行った。          評価概要表の中で事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点、外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点を説明。          例：自己評価 23、外部評価 9          項目：思いや意向の把握          ・1 人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。          (自己評価)          日々の暮らしの中で、利用者に声をかけて希望や思いを聞いたり、家族にも来訪時等に思いを聞いている。又、ご本人の表情や行動から思いを汲み取り把握に努めている。担当スタッフを位置づけ、より深く思いを受け止めれるように努めている。</p>	

(外部評価)

職員は穏やかにゆったりと利用者と会話する事を心がけ、思いや意向の把握に努めている。特に利用者と1対1になることができる入浴介助時を捉えて話を聴くようにしている。事業所では担当制をとっており、利用者の気持ちをより深く把握するよう努めている。意向を表すことが困難な利用者が増えており、職員は心掛けて声をかけるようにしている。

4. 利用者の皆さんの状態報告と取り組みについて

別紙参照。

5. 構成員の皆さんとの意見交換（質問・要望・助言等）

- ・見ていて雰囲気明るくなったと思う。
- ・ボランティアなど活用してみても？読み聞かせ等もやっている。社会福祉協議会に頼んだら出来る。
- ・これからも利用者本位、最優先で考えて行って欲しい等。

6. その他

第2回運営推進会議 夕涼み会

平成29年 7月下旬予定